



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月6日
上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬ホールディングス株式会社
 コード番号 4886 URL <https://www.aska-pharma-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画部長 (氏名) 小林 秀昭 TEL 03-5484-8366
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	47,259	7.0	5,041	7.8	5,246	9.5	4,183	2.5
2022年3月期第3四半期	44,179	—	4,677	—	4,790	—	4,082	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,538百万円 (30.1%) 2022年3月期第3四半期 4,256百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	148.19	—
2022年3月期第3四半期	143.76	—

(注) 当社は2021年4月1日に単独株式移転により設立されたため、2022年3月期第3四半期対前年同四半期増減率はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	90,794	54,080	59.6
2022年3月期	83,297	48,892	58.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 54,080百万円 2022年3月期 48,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
2023年3月期	—	8.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2. 2022年3月期第2四半期末の配当原資は、その他資本剰余金であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	6.0	5,200	8.4	5,300	8.6	4,200	△2.1	148.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	30,563,199株	2022年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,287,061株	2022年3月期	2,379,856株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	28,227,429株	2022年3月期3Q	28,397,461株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 事業会社の主力品の売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の解除により経済活動は徐々に正常化へと向かう一方で、ウクライナ情勢の長期化、為替変動等に伴う原材料価格の高止まりやサプライチェーンの混乱などコスト増加要因が経済に与える影響により、先行きは依然として不透明な情勢のまま推移しております。しかしながらこのような状況下においても、当社グループの事業は新製品の伸長やこれまで以上のコスト縮減に取り組むことなどにより、前年度に引き続き堅調に推移しております。

当第3四半期連結累計期間における当社経営成績は以下のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	44,179	47,259	3,079	7.0
営業利益	4,677	5,041	364	7.8
経常利益	4,790	5,246	456	9.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,082	4,183	100	2.5

セグメント業績は次のとおりであります。

① 医薬品事業

内科、産婦人科、泌尿器科の3分野に注力している医薬品事業は薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。製品別にみると、産婦人科領域において子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「レルミナ」が6,995百万円（前年同期比22.4%増）と前年に引き続き大きく増加したほか、月経困難症治療剤「フリウエル」が2,718百万円（同2.8%増）と堅調な実績となりました。また2022年6月から販売を開始した月経困難症治療剤「ドロエチ」は2,538百万円となり売上が牽引しました。さらに内科領域の主力品である甲状腺ホルモン剤「チラーヂン」が6,031百万円（同3.2%増）、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」も4,230百万円（同11.5%増）と着実に伸長しました。泌尿器科領域ではLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リユープロレリン」が3,930百万円（同0.1%減）となりました。

以上の結果、売上高は41,916百万円（同5.6%増）、セグメント利益は5,418百万円（同10.9%増）となりました。

② アニマルヘルス事業

動物用医薬品、飼料添加物等の製品を販売しているアニマルヘルス事業においては、主に飼料添加物の売上が堅調であったこと等から、売上高は5,187百万円（前年同期比18.5%増）、セグメント利益は417百万円（同26.7%増）となりました。

③ その他事業

臨床検査、医療機器、サプリメント等の各事業を展開しているその他事業については、前年度に発売した毛髪ホルモン量測定キットの売上寄与もあり、売上高は155百万円（前年同期比34.0%増）となったものの、セグメント損失は26百万円（前年同期は42百万円の損失）と黒字化には至りませんでした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7,496百万円増加し、90,794百万円となりました。これは主に、有価証券および無形固定資産は減少しましたが、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、原材料及び貯蔵品および投資有価証券などが増加したためであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,308百万円増加し、36,713百万円となりました。これは主に、電子記録債務は減少しましたが、支払手形及び買掛金および流動負債のその他が増加したためであります。なお、短期借入金および長期借入金の合計は返済により減少しております。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5,188百万円増加し、54,080百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加および株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.9ポイント上昇し59.6%となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月7日の「2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

（4）研究開発活動に関する説明

当第3四半期連結累計期間における研究開発費総額は、2,866百万円であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,103	18,504
受取手形、売掛金及び契約資産	14,482	18,148
有価証券	5,000	—
商品及び製品	10,016	10,188
仕掛品	457	252
原材料及び貯蔵品	4,587	7,208
その他	2,911	3,123
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	49,557	57,426
固定資産		
有形固定資産	10,936	11,000
無形固定資産	6,183	4,716
投資その他の資産		
投資有価証券	12,223	13,782
その他	4,414	3,885
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	16,620	17,650
固定資産合計	33,739	33,368
資産合計	83,297	90,794
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,118	5,959
電子記録債務	3,723	2,721
短期借入金	1,723	3,343
その他の引当金	1,188	554
その他	6,257	8,229
流動負債合計	16,011	20,809
固定負債		
長期借入金	12,323	9,629
退職給付に係る負債	5,730	5,943
その他	338	332
固定負債合計	18,393	15,904
負債合計	34,404	36,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,867	1,847
利益剰余金	45,833	49,564
自己株式	△3,479	△3,358
株主資本合計	45,419	49,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,231	4,079
為替換算調整勘定	164	650
退職給付に係る調整累計額	77	97
その他の包括利益累計額合計	3,473	4,828
純資産合計	48,892	54,080
負債純資産合計	83,297	90,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	44,179	47,259
売上原価	23,485	24,893
売上総利益	20,694	22,366
販売費及び一般管理費	16,017	17,324
営業利益	4,677	5,041
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	251	331
その他	115	70
営業外収益合計	367	402
営業外費用		
支払利息	43	38
休止固定資産費用	137	40
その他	72	118
営業外費用合計	254	197
経常利益	4,790	5,246
特別利益		
固定資産売却益	9,425	—
投資有価証券売却益	—	121
特別利益合計	9,425	121
特別損失		
減損損失	5,921	—
その他	2,444	—
特別損失合計	8,366	—
税金等調整前四半期純利益	5,849	5,367
法人税、住民税及び事業税	1,048	1,036
法人税等調整額	717	148
法人税等合計	1,766	1,184
四半期純利益	4,082	4,183
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,082	4,183

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	4,082	4,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	858
退職給付に係る調整額	22	20
持分法適用会社に対する持分相当額	89	477
その他の包括利益合計	173	1,355
四半期包括利益	4,256	5,538
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,256	5,538

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業				
売上高						
外部顧客への売上高	39,685	4,377	116	44,179	—	44,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	41	41	△41	—
計	39,685	4,377	158	44,221	△41	44,179
セグメント利益又は 損失 (△)	4,886	329	△42	5,173	△495	4,677

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△495百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業	アニマル ヘルス事業				
売上高						
外部顧客への売上高	41,916	5,187	155	47,259	—	47,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	41	41	△41	—
計	41,916	5,187	196	47,300	△41	47,259
セグメント利益又は 損失 (△)	5,418	417	△26	5,809	△767	5,041

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△767百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含めていた「アニマルヘルス事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

（1）事業会社の主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高
（ 2 0 2 3 年 3 月 期 第 3 四 半 期 実 績 ）

あすか製薬株式会社

（単位：百万円）

品 目 名	前 期 2022年3月期		当 期 2023年3月期		対前年同四半期 増減率（%）
	第3四半期 実績	年間実績	第3四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	9,795	12,394	8,464	10,650	△ 13.6
子宮筋腫・子宮内膜症治療剤 レルミナ	5,713	7,334	6,995	9,318	22.4
甲状腺ホルモン剤 チラーゼン	5,842	7,499	6,031	7,736	3.2
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	3,795	4,854	4,230	5,414	11.5
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	3,932	5,183	3,930	5,025	△ 0.1
月経困難症治療剤 フリウェル	2,643	3,463	2,718	3,478	2.8
月経困難症治療剤 ドロエチ	—	—	2,538	3,376	—
抗甲状腺剤 メルカゾール	1,144	1,458	1,163	1,484	1.7
黄体ホルモン製剤 ルテウム	475	661	918	1,253	93.4
高血圧症治療剤 アムロジピン	848	1,073	710	914	△ 16.3

※ カンデサルタン配合剤を含む

あすかアニマルヘルス株式会社

（単位：百万円）

事 業 分 野 名	前 期 2022年3月期		当 期 2023年3月期		対前年同四半期 増減率（%）
	第3四半期 実績	年間実績	第3四半期 実績	年間見込	
飼料添加物、混合飼料、飼料原料	2,676	3,508	3,258	3,855	21.8
畜産用医薬品	1,166	1,466	1,264	1,532	8.4